

令和2（2020）年 9 月 17 日

報道関係者

地域広報関係者 各位

国際日本文化研究センター
総合情報発信室

「大衆文化研究プロジェクト」の研究成果 刊行のお知らせ

国際日本文化研究センター（日文研）が進めている「大衆文化研究プロジェクト」の成果が、このたび全5巻の「大衆文化研究叢書」シリーズとして刊行される運びとなりました。

第1巻『日本大衆文化史』は、明日9月18日（金）発売です。本書は、古代の神話から現代の「初音ミク」まで、大衆を無名の作者と位置付け、時代を越えて、創造・継承・更新される大衆文化の歴史を見通し、「その先」を見据えます。ジャンルを横断して通史でたどる、これまでに無い文化史の教科書です。

書名：『日本大衆文化史』

編著者：日文研大衆文化研究プロジェクト

執筆者：大塚英志、伊藤慎吾、香川雅信、久留島元、木場貴俊、北浦寛之、佐野明子、
山本忠宏、前川志織、近藤和都、松井広志、オウ・ケイカイ、アルバロ・エルナンデス

定価：本体2500円＋税

発売日：2020年9月18日（電子書籍も同日発売）

ISBN：9784044005634

発行：株式会社KADOKAWA

シリーズ続巻は来年7月以降、順次刊行予定です。どうぞご期待ください。

■「大衆文化研究プロジェクト」とは

国際日本文化研究センター（日文研）が2016年度から2021年度にかけて人間文化研究機構・機関拠点型基幹研究プロジェクトとして取り組んでいるプロジェクト（正式名称「大衆文化の通時的・国際的研究による新しい日本像の創出」）です。日本文化全体を構造的・総合的に捉え直すため、大衆文化の通時的・国際的考察に取り組み、新しい日本像と文化観の創出に貢献することを目的としています。

（公式サイト：<https://taishu-bunka2.rspace.nichibun.ac.jp/>）

（添付資料 A4 チラシ・片面 2 枚）

日本の大衆文化から未来を展望する「大衆文化研究叢書」シリーズ

日文研「大衆文化研究プロジェクト」の研究成果を刊行開始！

第1巻『日本大衆文化史』

編著者：日文研大衆文化研究プロジェクト

定価：本体 2500 円＋税

発売日：2020年9月18日（電子書籍も同日発売）

ISBN：9784044005634

発行：株式会社 KADOKAWA

■収録内容（目次）

序 日本大衆文化史は可能なのか

【第1部 声と身体】

1章 物語と座の時代（8世紀～16世紀）

2章 声とパフォーマンスの時代（12世紀～16世紀）

コラム 「絵の本」の歴史——小絵から児童文学まで

コラム 太平記読み——テキスト、講釈、メディア

【第2部 メディア】

3章 木版印刷と「二次創作」の時代（17世紀～1890）

コラム オヅ・ヨシサダ青年のディレクタントイズム——江戸のオタク青年の脳内城下町

コラム 鬼魅の名は——妖怪名称と大衆文化

4章 「私」とアマチュアの時代（1900～1920）

コラム パノラマの経験——仮構される戦場

コラム 画工と画家——広告の図案制作者たち

【第3部 メディアミックス】

5章 参加する「素人」たち 群衆と動員の時代：前期（1920～1950）

コラム スタジオは生きている——アニメーションにおける協働／集団制作

コラム 「蒲田行進曲」と裏方たちのドラマ——映画撮影所の歴史と伝統を受け継ぐ者たち

6章 遅れてきたテレビ 群衆と動員の時代：後期（1950～1980）

コラム 模型の近代史——メディアとしてのモノ

コラム レイヤーとしてのトーキーアニメーション

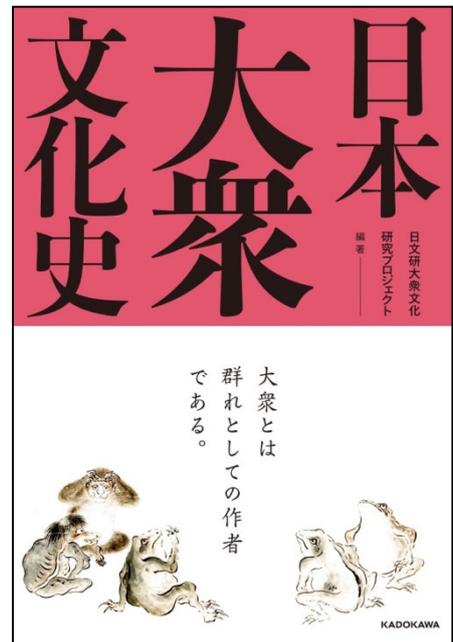
【エピローグ デバイス】

7章 プラットフォームとデバイスの時代（1980～現在）

コラム ボーカロイドとは何か——初音ミクという創作活動ムーブメント

■執筆者

大塚英志、伊藤慎吾、香川雅信、久留島元、木場貴俊、北浦寛之、佐野明子、山本忠宏、前川志織、近藤和都、松井広志、オウ・ケイカイ、アルバロ・エルナンデス



■「大衆文化叢書」シリーズ 続刊予定

第2巻『疫病・自然災害・大衆文化（仮）』（2021年7月予定）

（代表編者：小松和彦）

第3巻『身体と六感の大衆文化史（仮）』（2021年9月予定）

（代表編者：安井真奈美、アルバロ・エルナンデス）

第4巻『〈キャラクター〉と〈世界〉の大衆文化史（仮）』（2021年11月予定）

（代表編者：荒木浩、前川志織、木場貴俊）

第5巻『東アジアの中の日本大衆文化（仮）』（2022年1月予定）

（代表編者：劉建輝、石川肇）